

科目名	法 学	科目分類	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎教育科目 <input type="checkbox"/> 専門教育科目 <input type="checkbox"/> 卒業必修 <input type="checkbox"/> 栄養士必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
		開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年
英文表記	Jurisprudence	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
ふりがな	わたなべ たけし	授業形態・修得単位	講義 ・ 2 単位
担当教員名	渡 部 毅	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	
授業のテーマ	<p>私たちは社会の中で人と関わり合いながら生活していますが、他者と衝突したりトラブルに巻き込まれたりすることがあります。こうした場合に、その争いを交通整理してくれる役割を果たしているのが法です。この授業では、法とは何かを明らかにしたうえで、その種類や効力、法の解釈方法などについて説明します。あわせて、最高法規である日本国憲法について、要点を説明します。</p>		
授業概要	<p>法の特徴や日本国憲法の内容について、講義形式で説明をします。</p>		
到達目標	<p>法の効力や解釈方法などを理解したうえで、法とはどのようなルールであるかについて説明できる。日本国憲法の全体像が説明できる。</p>		
授業時間外の学習	<p>新聞などを通じて、社会で起きている紛争や事件などについて関心を持つようにしましょう。</p>		
履修条件	<p>特になし。</p>		
授業計画			
第1回	テーマ：はじめに 法とは何か		
第2回	テーマ：法源（1）		
第3回	テーマ：法源（2）		
第4回	テーマ：法の効力（1）		
第5回	テーマ：法の効力（2）		
第6回	テーマ：法の適用と解釈（1）		
第7回	テーマ：法の適用と解釈（2）		
第8回	テーマ：日本憲法史		
第9回	テーマ：国民主権と象徴天皇制		
第10回	テーマ：人権総論		
第11回	テーマ：包括的基本権と平等権		
第12回	テーマ：自由権		
第13回	テーマ：参政権・社会権		
第14回	テーマ：統治機構（1）国会		
第15回	テーマ：統治機構（2）内閣・裁判所 まとめ		
第16回	定期試験		
テキスト	古田重明 編著『新版現代法学』（八千代出版・2011年）		
参考文献・資料	ポケット六法（有斐閣）		
成績評価の方法	<p>定期試験（70%）、レポート（30%）を総合評価します。 出席回数規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>		
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)		
オフィスアワー	火曜日 10：00～11：00 金曜日 15：00～16：00		

受講生に
望むこと・受講
のルール

世の中で起きている様々な出来事には、法が関係していることが多くあります。新聞などを通じて社会現象に関心を持って、それらと法の関わり合いを意識しながら学習を深めていただければと思います。